

第3回保健福祉審議会（令和7年7月9日）における委員からの意見一覧

	資料番号	項目	ご意見	区の回答
1	4	コミュニティソーシャルワーク事業	・コミュニティソーシャルワーカー（以下、CSW）の活動に対して期待しています。 ・関わり方で、課題が出来た場合は全てCSWの皆さんが解決するのでは難しく、それぞれ専門分野の人に繋ぐ形で解決されるかと思いますが、それぞれの事例をデータベース化し迅速な解決につなげる事を検討してみてもいいでしょうか？ ・高齢者の立場からすれば、各区民ひろばにCSWが配置され、問題や相談を聞き取り迅速な解決ができないでしょうか？	・貴重なご意見をいただきありがとうございます。 ・CSWは毎日、業務開始時に一同で集まり、事例の共有を行った後に各区民ひろばに向かいます。また、対応した事例については、データで管理しており、全CSWが過去の事例を確認することができる体制となっております。 ・CSWの配置については、区民ひろばのスペース確保の問題や、福祉人材の不足などの課題を踏まえ、引き続き検討してまいります。
2	4	コミュニティソーシャルワーク事業	- 個別相談件数が減っている件について ・広報の方法、開業医にポスターやパンフレットを置かせてもらって高齢者に知らせていくような方法はどうか。 ・「ぷらっと」豊島区に来て3年たつが、知らない。 ・要援護家庭の子への学習支援活動→子ども食堂の活用を考えてはどうか。 ・「としまるサロン」→外国籍のひとり親家庭は、千葉県外国籍向け母子生活支援施設利用の選択肢はあるのか？	・個別相談件数の増加に向け、周知方法についての貴重なご意見をいただきありがとうございます。参考とさせていただきます。 ・また、「ぷらっと」についても、多くの区民の皆さまに活動を知っていただき、ご参加いただけるよう周知方法を検討し、改善していきます。 ・学習支援活動については、区内で自主的に開催される団体等が増えてきており、CSWが立ち上げ支援に関わるケースも多くあります。子ども食堂を実施している団体もございますので、新たに学習支援活動を実施する場合に、こうした事例をご紹介しながら支援を行ってまいります。 ・外国人ひとり親家庭について、ご家庭の事情により異なるかと思いますが、原則は住所地等近隣地域の施設に入所することとなるかと思いますが、引き続き、当事者のご事情やご要望に寄り沿った支援を行ってまいります。
3	4	コミュニティソーシャルワーク事業	- 地域共生社会の更なる実現に向けて ・何か地域全体で取り組むことを計画してはどうか。 例）「豊島区を日本一きれいな街にする」 - タバコのポイ捨て問題を地域全体で子どもから高齢者まで一緒になって取り組んでいく。そうした中から区民全体のつながりが生まれ、いいことや問題点が見えてくるのではないかな。 - 他機関協働事業、参加支援事業、継続的支援事業にもつながる。	・貴重なご意見をいただきありがとうございます。区内でも各地域ごとに特色が異なりますので、各地域ごとの目標や、区全体の目標を定めるなど、次期計画に向けて検討させていただきます。
4	5	福祉包括化推進部会事例	・重層的支援体制の取組について、事例の紹介をいただき理解を深める事が出来ました。 ・保健福祉計画のP86連携体制で月1回の会合？で事例紹介在った案件のようなことが何件くらい話し合われているのでしょうか？ ・事例の様に問題解決では多面的に見て解決する必要があると思いますが、このような事例は多数あるのではないのでしょうか？	・福祉包括推進部会（以下「部会」）では、審議会の中でご紹介した事例のように、単独の支援機関では支援が困難な事例について、毎月3～4件の検討を行っております。
5			- 視覚障害者に対する配慮がない。 - 資料は当日配布では困る。 - 委員の発言が誰だかわからない。	・次回より、資料は1週間前を目途に事前に送付いたします。 ・会議中に発言をする際は名前を名乗ることを徹底いたします。